

平成24年12月12日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社商船三井に「SMB C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、株式会社商船三井（代表取締役社長：武藤 光一）に対し、「SMB C環境配慮評価融資」を実施致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：藤井 順輔）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況进行评估し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、株式会社商船三井に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境マネジメント」「環境保全対策の取り組みの状況」「環境ビジネス」などの面で非常に高い水準であると判断され、企業経営において大変優れた環境配慮を実施されているとの評価となりました。

なお、株式会社商船三井に対する「SMB C環境配慮評価融資」の実施は3回目であり、従来からの環境取組みのご推進を深化された結果、最上位の評価となっています。

特に、①環境マネジメントシステムの対象範囲を海外も含めたグループ会社に拡大しグループ一体となって環境保全活動を推進されている点、②ECO SAILING（エコセーリング）の徹底によるCO2排出量削減の他にも、オフィスにおける省エネ、廃棄物対策や、運航船舶における節水活動など、実直に取り組みを積み重ねておられる点、③環境ビジネスでは、「船舶維新」プロジェクトの推進等によって低環境負荷船（※）やプロペラ効率改善装置などの技術開発、顧客への低環境負荷輸送ソリューションの導入提案を積極的に行っておられる点等が高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。

（※）「船舶維新」プロジェクトの一環として、太陽光発電システムとリチウムイオン電池を組み合わせたハイブリッド給電システムを搭載した自動車船「EMERALD ACE」が、2012年6月29日に竣工されています。



航行中のハイブリッド自動車船「EMERALD ACE」

2012年6月に竣工。太陽光パネルの出力は160kWで、船舶に搭載されるものでは世界一の規模となります。



技術研究所

太陽光エネルギー利用や自然採光システム、氷蓄熱冷暖房システムなどを採用し、随所に環境・省エネ技術を生かした環境配慮型の施設となっています。

以 上